

平成16年3月期

決算説明資料

平成16年5月24日

川重冷熱工業株式会社

# 平成16年3月期 決算概要

# 平成16年3月期の総括



今期の業績は、機器、改修改造・メンテナンス共に前期比増の売上となりましたが、競争の激化等により製品の販売単価下落に歯止めが効かず、コストダウンおよび諸経費の圧縮に努めましたが、売上、経常利益、当期純利益共に公表値を下回る結果となりました。

# 平成16年3月 貸借対照表



## 資 産

金額単位:千円

	今 期	前 期	前 期 比	備 考
流動資産	9,549	8,983	106.3%	
現金及び預金	333	933	35.7%	前期に比べ売上計上時期が期末に集中したことによる期末売上債権残高の増加の影響
受取手形・売掛金	7,307	6,072	120.3%	同上
棚卸資産	1,618	1,666	97.1%	
繰延税金資産	230	271	84.9%	
その他流動資産	59	38	155.3%	
固定資産	3,648	3,640	100.2%	
有形・無形固定資産	2,188	2,184	100.2%	
長期繰延税金資産	1,189	1,216	97.8%	
投資その他の資産	269	239	112.6%	
資 産 合 計	13,198	12,623	104.6%	

# 平成16年3月 貸借対照表



## 負債・資本

金額単位:千円

	今 期	前 期	前 期 比	備 考
<b>流動負債</b>	6,245	5,408	115.5%	
支払手形・買掛金	4,412	3,769	117.1%	売上計上時期が期末に集中したことによる仕入債務の増加の影響
短期借入金	890	270	329.6%	売上債権の回収時期の違いによる所要資金増加の影響
前受金	54	108	50.0%	
設備、支払手形・未払金	106	82	129.3%	
その他の流動負債	781	1,177	66.4%	未払法人税、賞与引当金等の減少の影響
<b>固定負債</b>	3,097	3,366	92.0%	
退職給付引当金	2,999	3,292	91.1%	退職金支給による取崩し増加の影響
その他固定負債	97	73	132.9%	
<b>負債合計</b>	9,342	8,774	106.5%	
<b>資本金</b>	1,460	1,460	100.0%	
<b>資本剰余金</b>	1,228	1,228	100.0%	
<b>利益剰余金</b>	1,159	1,164	99.6%	
(内、当期純利益)	(108)	(488)	22.1%	
<b>株式等評価差額金</b>	11	0		
自己株式	4	3	133.3%	
<b>資本合計</b>	3,855	3,849	100.2%	
<b>負債・資本合計</b>	13,198	12,623	104.6%	

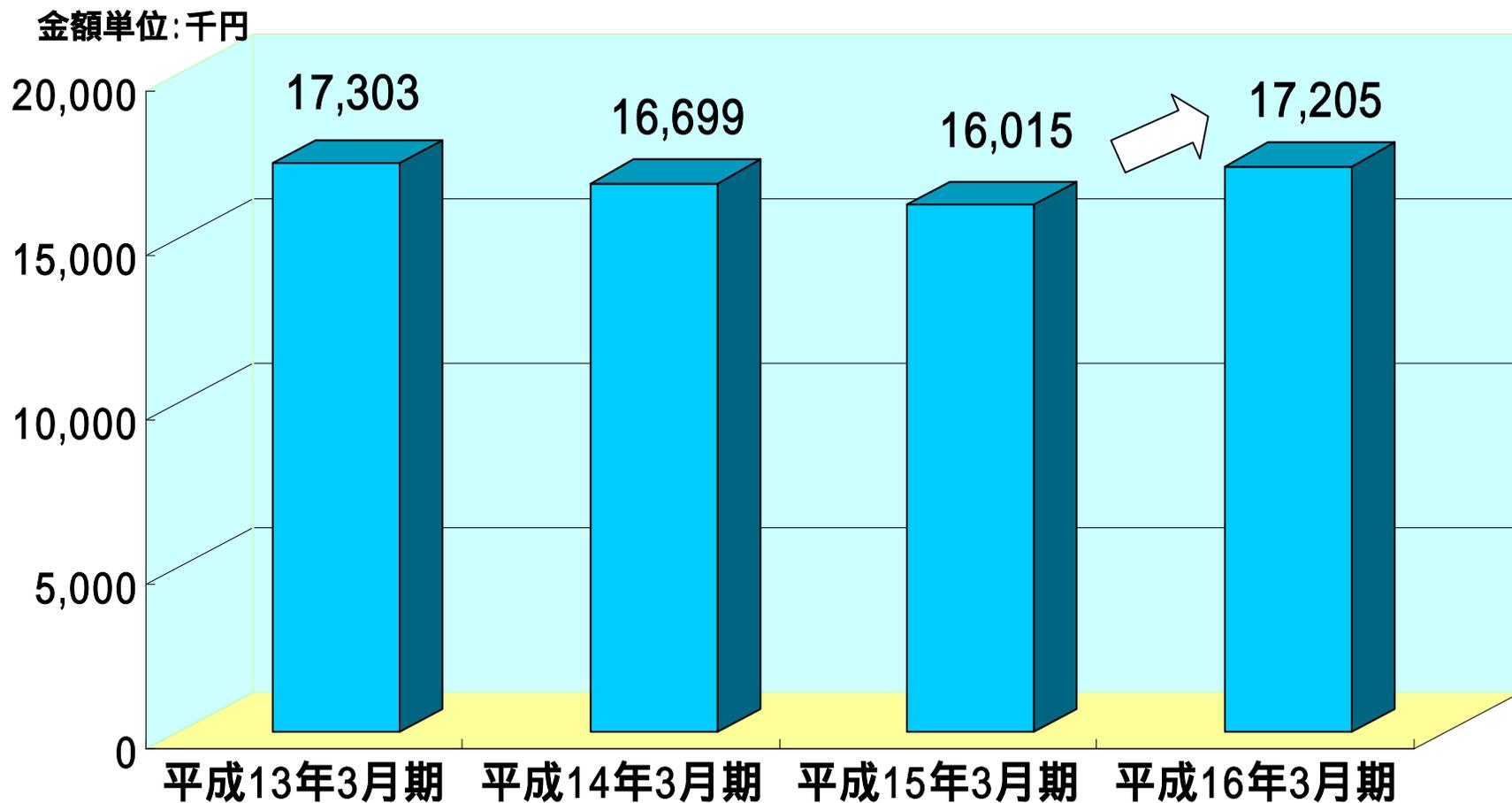
# 平成16年3月 損益計算書



金額単位:千円

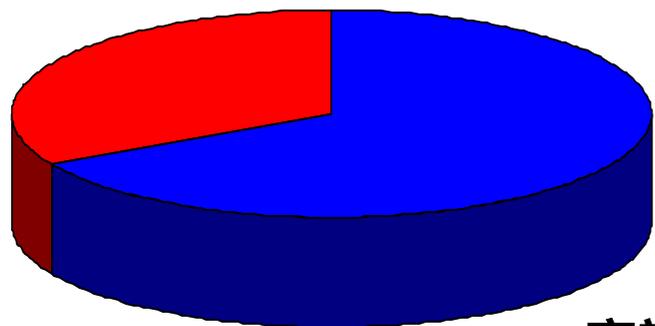
	今 期	前 期	前 期 比	備 考
売 上	17,205	16,015	107.4%	空調・ボイラ事業共に機器、改修改造工事・メンテナンスが増加した影響
売上総利益	4,341	4,702	92.3%	販売単価下落に伴う影響
販売費及び一般管理費	3,831	4,017	95.4%	幹部職員賞与制度変更に伴う引当金減少、諸費用の削減等による
営業利益	509	684	74.4%	
営業外収益	19	22	86.4%	
営業外費用	24	53	45.3%	
経常利益	503	653	77.0%	
特別利益	—	216		土地売却益
特別損失	205	270	75.9%	205は、退職給付会計基準変更時差異償却。減少は、固定資産売却損及び除却損の影響
税引前当期純利益	298	599	49.7%	
法人税、住民税及び事業税	132	419	31.5%	
法人税等調整額	58	67		
当期純利益	108	248	43.5%	
前期繰越利益	282	447	63.1%	
当期末処分利益	390	695	56.1%	

# 売上の推移



# 売上構成比の比較

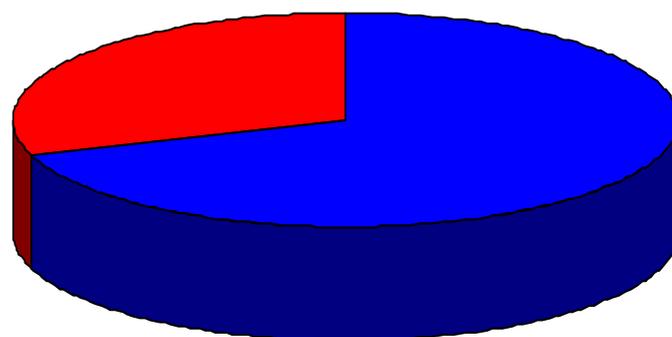
ボイラ事業  
33.2%



平成15年3月期

空調事業  
66.8%

ボイラ事業  
30.4%



平成16年3月期

空調事業  
69.6%

## 要因分析

空調・ボイラ事業ともに機器および改修改造工事・メンテナンスが増加しましたが、空調事業の改修改造工事・メンテナンスの増加がボイラ事業のそれよりも多かったことにより構成比が変動いたしました。

# セグメント分析

## 空調事業

主力機種の「シグマエース」の受注が順調に増加したことで、機器の売上が増加いたしました。

また、既納機累増に伴い改修改造工事・メンテナンスも増加いたしました。

## ボイラ事業

受注残高が多かったことにより、排熱ボイラ、貫流ボイラが増加し、機器の売上が増加いたしました。

改修改造工事・メンテナンスも増加いたしました。

# 平成17年3月期 業績予想

# 平成17年3月期の業績予想

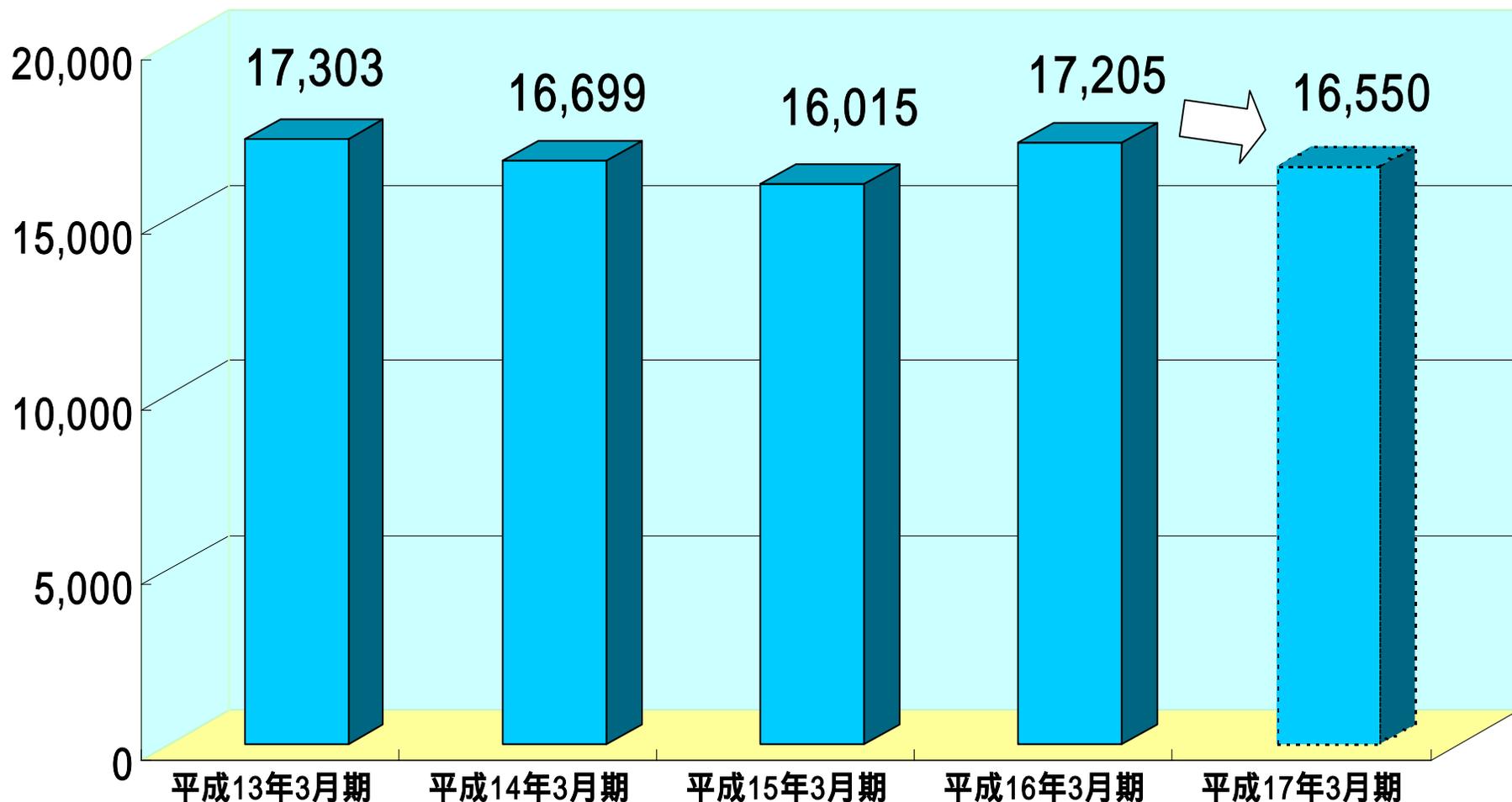


金額単位:千円

	今 期	来期(予)	前 期 比	備 考
売 上	17,205	16,550	96.2%	
空調事業	11,499	11,520	100.2%	
ボイラ事業	5,706	5,030	88.2%	ボイラ機器の受注残減の影響
経常利益	503	510	101.4%	
当期純利益	108	115	106.5%	

# 売上の推移(予想)

金額単位:千円



# セグメント別事業計画



## 空調事業

吸収冷温水機の「シグマエース」の省エネ機種揃えの豊富さを武器にリプレース需要を確保いたします。

電話回線を使ったメンテナンスシステムの「テレメンテ」の普及およびサービスメニューの充実を図り、改修改造工事・メンテナンスの拡大を図ります。

## ボイラ事業

大型貫流ボイラ「イフリート」を中心として受注拡大に注力いたします。

電話回線を使ったメンテナンスシステムの「テレメンテ」の普及およびサービスメニューの充実を図り、改修改造工事・メンテナンスの拡大を図ります。

# 参 考

当社は、設計・製造、販売、サービスの一貫体制のもと、製品、サービスの付加価値を高め、顧客第一主義を掲げ、提案型営業に努め業容拡大を図って行くと共に、財務体質の改善・強化、業務の効率化、顧客管理システムの確立、生産体制の合理化、コストおよび固定費の削減に努め、経営基盤の一層の強化を図ってまいりたい所存です。

当社の関連する空調業界では、省エネルギーおよび余剰エネルギーを有効利用する機器の開発が進展していくものと思われれます。また、市場競争の激化により販売価格が低下傾向にあります。

ボイラ業界は、貫流ボイラを中心とした市場構造には変化がないと思われれます。業界内でのM&Aの動きもあり、各社の動向から目が離せない状況にあります。

## 本資料に関する問合せ先

川重冷熱工業株式会社

企画室 管理部

TEL 06-6325-0300

### ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださるようお願いいたします。